

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算

支出科目 款：教育費 項：保健体育費 目：体育振興費

事業名 学校体育指導事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

教育委員会 体育健康課 学校体育係 電話番号：058-272-1111 (内 3590)

E-mail: c17769@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 865 千円 (前年度予算額：1,767 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	1,767	0	0	0	0	0	0	0	1,767
要求額	865	0	0	0	0	0	0	0	865
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

幼・小・中・高における体育指導者の資質や指導力向上を図るため、養成研修等に教諭を派遣し、伝達講習会等を実施する。

また、各学校で行った体力テストの結果を調査・分析することで、児童生徒の体力における課題等を明らかにし、体力向上を推進する。

(2) 事業内容

・教員研修

- ①体力向上マネジメント指導者養成研修派遣 (開催地：茨城県)
- ②体育・保健体育指導力向上研修派遣 (開催地：東京都)
- ③幼・小・中・高等学校体育実技指導者講習会 (伝達講習)
- ④中・高等学校武道 (剣道・柔道) 指導講習会

・体力テスト調査データ集計処理

業者に調査データ集計処理を委託

- ・子どもの体力づくりに係る取組み

新体力テストを実施する1学期と他学期の平均記録の差がどれだけ伸びたかで順位づけを行い、各項目、各学年の上位5学級を表彰する。

(3) 県負担・補助率の考え方

県 10/10

県内全域への事業であるため、県負担が妥当。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	351	伝達講習講師謝金
旅費	294	教員研修旅費
委託料	173	調査データ集計処理委託
需用費	0	賞状用紙
使用料及び賃借料	47	講習会場
合計	865	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 法令等との関係

「小学校学習指導要領 体育」「中学校学習指導要領 保健体育」

- ・小学校低・中学年、中学校で授業時間を増加
- ・中学校の第1学年及び第2学年で武道・ダンスが必修化

(2) 各種計画での位置づけ

- ・第3次岐阜県教育ビジョン

基本方針1 んふへの愛着をもち、世界に視野を広げ活躍する人材の育成

目標4 優れた才能や個性を伸ばす教育の推進

基本方針3 未来を切り拓くための基礎となる力を育む教育の推進

目標16 体力づくりの推進

事業評価調査書

<input type="checkbox"/>	新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/>	継続要求事業

1 事業の目標と成果

(事業目標)

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

体育科教諭に最新の指導方法等を伝えるための伝達講習会を実施し、指導者の資質向上や、児童生徒の体力・運動能力調査の分析に基づき、体力向上に向けた取組を推進する。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R5)	達成率
各種講習会実施回数		14回	14回	14回	14回	100%

○指標を設定することができない場合の理由

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	体力向上マネジメント指導者養成研修、体育・保健体育指導力向上研修派遣 ※コロナウイルス感染拡大防止によりWebにて参加。 小中高等学校体育実技指導者講習会（伝達講習）を紙面にて実施。 研修会は通常開催ができないときもあったが、Webでの開催や、講師から資料を提供してもらい配布することで、少しでも受講生にとって有益となる研修になるよう心掛けた。
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加 <hr/> 指標① 目標：__ 実績：__ 達成率：__%
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加 <hr/> 指標① 目標：__ 実績：__ 達成率：__%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性 (社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か) <p>3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない</p>	
(評価)	<p>3</p> <p>新学習指導要領に沿った最新の工夫がなされた指導方法を伝達するために、本事業は必要である。また、新体力テストの結果集計は、県内の児童生徒の実態と全国の結果とを比較する上で重要である。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) <p>3 : 期待以上の成果あり (単年度目標 100% 達成かつ他に特筆できる要素あり) 2 : 期待どおりの成果あり (単年度目標 100% 達成) 1 : 期待どおりの成果が得られていない (単年度目標 50~100%) 0 : ほとんど成果が得られていない (単年度目標 50% 未満)</p>	
(評価)	<p>1</p> <p>学校現場の指導者のニーズに応えた種目の講習会を設けることで効果がある一方、コロナ禍による児童生徒の体力向上に向けた取組は十分にできなかった。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) <p>2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている</p>	
(評価)	<p>1</p> <p>受講対象者のキャリアステージに応じた内容の研修となっている。</p>

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 <p>県全体として体育指導者の資質向上を継続的に図る必要がある。</p>

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか <p>指導者の資質向上は、常に求められていることや、児童生徒の体力向上は喫緊の課題であることを勘案し、事業継続が必要。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課 組み合わせる理由や期待する効果 など	
--	--